独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院
Japan Community Health care Organization：JCHO

身体的拘束最小化に向けた取り組み

私たちは、身体的拘束をしない医療・看護ケアに努めます



基本的な考え方

1　患者さんの個の尊厳と主体性を尊重します
2　身体的拘束の実施を原則禁止します
3　職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、身体的拘束に代わるケアを検討、実践します
4　やむを得ず身体的拘束を行なう場合は、院内規程に基づき適切に対応し、必要性の検討と最小化に努めます

身体的拘束最小化の取り組み

1　身体的拘束最小化チームを設置し体制を整備します
2　定期的な巡回を行ない、多職種で解除や代替案の検討を行なっています
3　実施状況を把握し身体的拘束の最小化に向けた具体的な取り組みを検討します
4　入院患者さんに関わる全ての職員を対象に、患者さんの尊厳の保持や身体的拘束最小化に関する研修を年2回以上実施しています

身体的拘束実施状況

9月	実施率 単月	実施率 直近3ヶ月
全　体	3.21%	2.73%
急性期病棟	4.33%	3.37%
地域包括ケア病棟	0.00%	0.88%



※入院料算定日数のうち身体的拘束を実施した日数で算定しています
※実施割合の目標水準は、
全体で15%以下、
地域包括ケア病棟で3%以下　です

